

参入市町村名	千葉県八街市	
法人等名（業態名）	株式会社且千花（農業生産法人）	
参入の種別	農業生産法人	
農業部門の概要	栽培作物	江戸菜、トマト、落花生、など数十品目
	経営規模	30ha
	雇用者数	94名（うち農業部門55名）
地域の概要	八街市は千葉県北部のほぼ中央に位置し、東京都心から 50km 圏内にあり、北総台地の肥沃な農地に恵まれた関東有数の畑作地帯として露地野菜や施設野菜を中心とした農業が行われている。	
参入の動機、きっかけ、参入の経過など	当初、健康食品の卸売会社として本社があった江戸川区の異業種交流に参加し、漬け物原料のコマツナ生産を発案、着手。後に今の主力新品種「江戸菜」の開発に成功した。平成 13 年に大槻会長自らが農地の権利を取得、農業に従事し、同 17 年には本社を当市に移し、農業生産法人としてスタートした。	
農業経営（農業事業）の内容	農地 30ha およびハウス 130 棟（30,000 m ² ）で江戸菜 500t他を生産、江戸菜は自社工場で加工、漬け物等としても販売している。 畑で作れる野菜ほとんどの生産しております（50種類以上）	
農産物の販売状況	生産する江戸菜は市場を通さず、ホテル・レストラン・惣菜会社・給食など全て販路開拓し直接販売している卸売業と 小売は農産物直売所を2箇所とJRの駅や百貨店の催事販売を定期的に行っており BtoC の販売を平成22年より始めています	
農業参入にあたって苦労したこと	当初はゼロからのスタートであり全ての器材を揃えるのにかなりの初期投資を要した（農地・トラクター・野菜洗浄工場・加工工場・ビニールハウス等）。また、最初の農地の権利取得（賃貸借）についても農地法の許可がおりるまで 2 年以上を要した。	
現在の課題、問題点	農地の拡大にあたり、当初は賃貸借も購入もなかなか希望する良い農地が見つからず苦労した。 また、農地取得後の附帯施設の建設も許可までに時間を要した。 賃貸借についても条件の良いとことばかりが借りられるわけではなく、今後は耕作放棄地を集積して大規模な畑に生まれ変われるような畑を作ることも重要だと考えます。	
農業参入で良かったと思う点	一生懸命農業に邁進し、よい野菜作りをすることにより、顧客が徐々に増えている。『農業を拡大して安全で美味しい野菜を作る』会社として将来に新しい目標を持つことができた。	
今後の展開方向、行政や関係機関に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は農地を 50haまで拡大し、輪作体系を整え、安全（千葉エコ農産物認証）で美味しい野菜作りをして、『且千花の野菜だからいいね』と呼ばれるようなブランド農業に出来るよう品質の工場と販路の拡大を図りたい。 ・観光農園等の法整備を行政・関係機関に対しては、支援をお願いしたい。あまりにも煩雑で、縛りが強すぎて市民農園的な事は一切できないのが現状です。 	